



笠原 則 孝

## 給食費の滞納状況の実態は

町 引き続き、強い姿勢で収納に努める

**Q** 給食費の滞納が、他町と比べ大変多いが。

**〈教育長〉** 平成24年度末の滞納額は1916万円超だが、これは平成11年度から14年間の総額である。住所・転居先不明が多いことが主な要因である。債権管理条例に基づき、提訴も考慮しながら、引き続き強い姿勢で収納に努めたい。

**Q** 高崎玉村スマートインターチェンジ北側に、約20ヘクタール規模の大型商業施設をつくる計画が検討されているようだが。

**〈町長〉** スマートインターチェンジ周辺地区まちづくり協議会を設置し、土

地利用について協議した。民間企業から、商業系でのアウトレットを進めるべきだとの提言をいただき、現在県との調整・協議を行っている。アウトレットモールはショッピングモールとは異なり、半径100キロメートル

圏内と広範囲にわたっている。群馬県内や関越自動車道沿いにはなく、玉村町の新たな玄関口となり、波及効果も期待できる。

**〈町長〉** 農業公社の理事長は、理事会の決議により選任される。社会福祉協議会長は評議員からの選任で、互選により決定する。公民館長は文化センター所長が兼ねることができ、教育委員会に諮り任命する。

**Q** 町長が任命する人事は、論功行賞的なことはないか。

高崎玉村スマートインターチェンジ北側の約20ヘクタールの土地



## 小中学校の教室にエアコンを設置することについて再度問う

町 町の財政事情も考慮しながら検討を進めたい



町 田 宗 宏

**Q** 小中学校の全教室にエアコンを設置することについて、本年9月定例議会後の検討結果を問う。

**〈教育長〉** 9月20日に管内校長会からエアコン設置の要望書が提出された。教育委員会として、必要性は理解している。町の財政事情等も考慮しながら、関係者と協議を重ねていきたい。

**Q** 長岡藩の米百俵の話のように、子どもたちに必要なことは最優先で実施されたい。

**〈教育長〉** 検討する。

**Q** 玉村町の学校給食費の滞納額は、県内において最悪である。その原因と対策について問う。

**〈教育長〉** 住所不明や生活保護者になる等の経済的理由による未納が主な要因である。従来の戸別訪問等に加え、債権管理条例に基づく徴収をも検討する。

**Q** 玉村町の学校給食は、各学校で調理する「自校方式」に変えるとともに、民間委託をやめたらどうか。



渡 辺 俊 彦

# 高崎玉村スマートーC周辺開発の進捗状況は

## 町 玉村町発展のための土地利用を積極的に進めていく

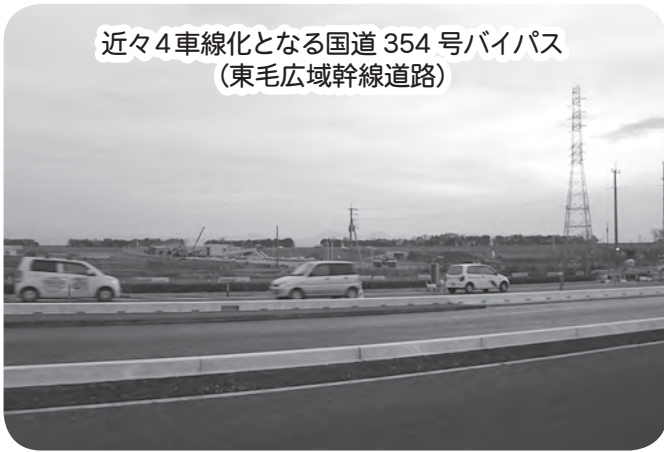
**Q** たまむら道の駅(仮称)の計画及び国道354号バイパス北側の20ヘクタールの開発計画について伺う。

**〈町長〉** たまむら道の駅(仮称)は、平成27年オープンを目指し、設計、用地交渉が順調に進んでいる。建設の目的は町の活性化のためであり、農産物直売地域物産品の販売を核とした施設と文化交流の場として、災害発生時の緊急避難場所として活用したい。20ヘクタールの開発については、町の新たな玄関口として産業構想拠点と位置づけ、商業系・アウトレットモールで進

めるよう計画し、県に相談している。

**Q** 354号バイパスの4車線化に伴う安全対策・周辺開発・交通網整備について、町の考えを伺う。

**〈町長〉** バイパスに接続する主要道には歩道を整備し、中央分離帯や歩車道には植樹帯を設けるなど安全対策を講じる。近々4車線で開通した後は、農業・工業・商業・定住施策など町内外の状況を勘案しながら、町全体のバランスを考え、適切な土地利用を図っていき



近々4車線化となる国道354号バイパス(東毛広域幹線道路)

**Q** 災害発生時の対応・準備は。

**〈町長〉** 現在26の施設を災害時指定避難場所に指定している。防災倉庫に水や非常食など

を保管し、食料・応急復旧などに関連し、民間企業と応援協定を締結している。



台風による大雨で冠水した道路

**〈教育長〉** 「自校方式」に変えるには、多額の初期投資とランニングコストがかかる。現状の方式でいきたい。民間委託している業務も順調に行われているので、このまま続けたい。

**Q** 降雨のたびに道路冠水や住宅への浸水被害が発生する地域がある。調査の上改善されたい。

**〈町長〉** 冠水や浸水状況等を調査の上、排水路の整備を進めていきたい。